

# 米の戦争に国民を強制動員 有事法案を廃案に！

## 民間企業も自治体も・ 町内会で有事訓練

国道9号線を走る自衛隊の装甲車  
(亀岡市内)



いま国会では、有事関連法案が審議されています。有事法案は、イラク戦争のようなアメリカの戦争に自衛隊を参戦させ、国民を罰則付きで強制的に戦争協力させるものです。

政府は、日本が攻撃を受けていない

段階でも、米軍に協力するとして、武力行使する米軍に弾薬を提供し、港や空港も米軍や自衛隊が優先して使用。民間業者や地方自治体も戦争協力を強制され、必要と判断すれば、国民の土地や家屋を取り上げることもできます。

また、町内会や会社、学校で防災訓練ならぬ「有事訓練」が行われ、国民が動員されます。

有事法案は、日本を守るものでなく、まさに米軍の戦争に協力するためのものです。

こんな憲法じゅうりんの有事法案をまともな審議もしないまま、成立させようとするのは、絶対に許されません。

**京都府、危険な有事法制先取り**  
山田知事は、「有事」に備えるとして、知事直轄の「危機管理監」を新設、「危機管理担当」に退職自衛官を採用。

## 米軍が住民虐殺、捕虜の拷問・虐待 イラクは泥沼化、孤立するブッシュ

イラクでは、アメリカ軍が無差別に住民を攻撃し、なんの罪もない住民が殺され、傷ついています。イラク国民は、一致してアメリカ軍の横暴に抗議し、占領に反対しています。イラク国民の占領反対の声をうけ、スペインをはじめ、ニカラグア、シンガポール、ドミニカ共和国、ホンジュラス、ニュージーランドなど次つぎと多くの国がイラクから軍隊を引き上げています。

ところが、日本は、自衛隊の交替部隊を派兵し、いつまでも居続けようとしています。航空自衛隊は、武装した米兵を輸送しています。

陸上自衛隊がいるサマワでも、「自衛隊の派遣は有益か」という世論調査に過半数の51%が「そうは思わない」

と答えています。

日本人ジャーナリスト二人が殺害されました。アメリカと一体となって、自衛隊がいつまでもイラクに居座りつづけるなら、イラク国民に敵対し、アラブ・イスラム世界の非難的となります。

アメリカの軍事占領を一刻も早くやめさせるためにも、直ちに自衛隊をイラクから撤退させましょう。



自衛隊はイラクから直ちに撤退を